

## 津警察署協議会議事録

令和4年度第2回津警察署協議会	
日 時 場 所	令和4年10月27日（木）午後2時30分～午後4時45分 津警察署1階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 11名 飯田聡委員、杉井ひろ子委員、杉田真一委員、鈴木一彦委員、高木暢子委員、田中克昌委員、寺田実智子委員、西出匠吾委員、前田律子委員、萬好哲也委員、水谷ひとみ委員</p> <p>2 警察署 13名 署長、副署長、事件指導官、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、生活安全課主幹、地域課長、刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
<b>議 事 概 要</b>	
<p>1 三重県警察本部通信指令課110番センター視察</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 警察署長挨拶</p> <p>4 管内治安情勢説明（警察署長）</p> <p>(1) 刑法犯認知・検挙状況 「管内の刑法犯の認知・検挙状況は、三重県内の情勢と同様、増加傾向にある。」旨を説明した。</p> <p>(2) 特殊詐欺の認知・検挙状況 「特殊詐欺全体の件数は減少したが、被害額は大幅に増加している。被害者の約8割は65歳以上の高齢者で、被害の約6割が自宅の固定電話にかかってきた犯人からの電話により、騙されている。」旨を説明した。</p> <p>(3) 暴力団犯罪 「3件、3名を検挙している。伊賀市内において暴力団員による拳銃使用の殺人未遂事件が発生しているので、暴力団の抗争に市民が巻き込まれないように平素から警戒をしている。」旨を説明した。</p> <p>(4) 薬物事犯 「11件、4名を検挙している。薬物事犯の多くが覚醒剤事犯である。」旨を説明した。</p> <p>(5) 交通事故発生状況 「今年に入り、交通事故件数が増加傾向にある。人身事故も多く、厳しい情勢となっている。」旨を説明した。</p> <p>5 前回の意見に対する結果報告（警察署長） 登下校の見守り活動に関して「交通誘導員が体を張って車を止めていることがある。」などの意見が出たことから、通学路見守り隊に対する講習会を実施し、当署作成の「子ども見守りハンドブック」を配布した</p>	

旨説明した。

6 協議内容

サイバー犯罪の発生状況について

<委員> サイバー犯罪は、資料の統計数値に含まれるのか。

【事件指導官】サイバー犯罪に認知件数の統計はない。

理由は、検挙するまでサイバー犯罪かどうか確認できないものもあるためである。

備 考	報道機関 1 社 1 名
-----	--------------